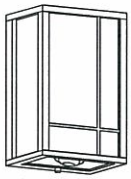
Panasonic

施工説明書

住宅用照明器具（ひとセンサ付ポーチライト）



品番　HWC6133E

お客様へ　器具の施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店、工事店に依頼してください。

工事店様へ　施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

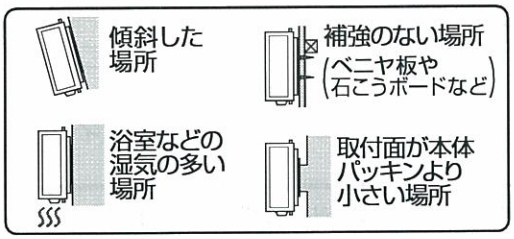
⚠ 警告

■取付面

●次のような場所には取り付けない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

禁止



◎この器具は壁面取付専用防雨型です。
（防湿型ではありません。）

必ず守る

●取付面と本体パッキンのスキマおよびパッキン外周部にシール剤を塗る

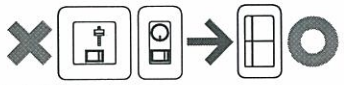
本体パッキンと取付面とのすき間を防水シール剤などで埋めてください。防水が不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。

■壁スイッチ

必ず守る

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する

火災のおそれがあります。



◎調光器の取り外しが必要です。

■その他

必ず守る

●器具の取り付けは、説明書に従い確実に行う

取り付けに不備があると火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。

●交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。

●検知部が下になるように取り付ける

浸水による感電のおそれがあります。

●電源線は端子台の差込み穴の奥まで確実に差し込む

差し込みが不完全な場合、火災・感電のおそれがあります。

⚠ 注意

禁止

●温度の高くなるものの上に取り付けない

火災の原因となることがあります。

◎ガス機器や排気筒の上に取り付けないでください。

必ず守る

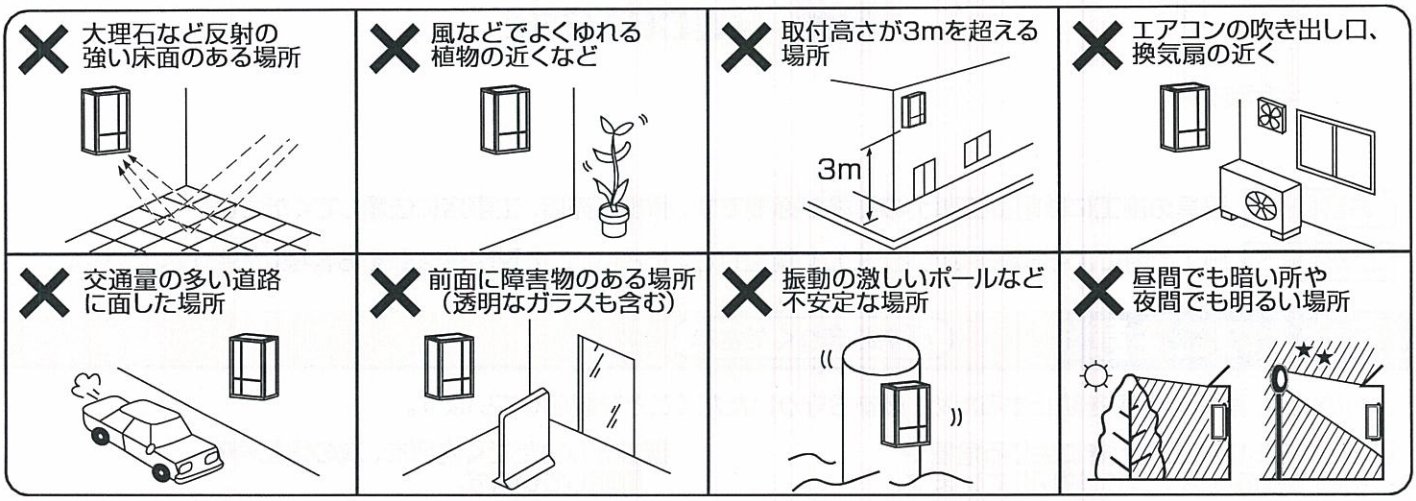
●付属の梱包材は取り除いて使用する

そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

施工前のご確認事項

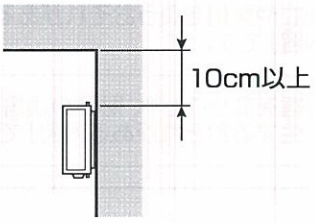
取付場所についてのご注意

●次のような場所には取り付けないでください。
この器具は、周囲の明るさと温度変化をセンサで検知して動作するため、以下のような場所に取り付けると誤動作の原因となります。



●一般屋外仕様ですので、海岸隣接地帯では、塩害により短期間で錆が発生するおそれがあります。

●器具天面から10cm以上はなして取り付けてください。
スペースがないとカバーの取り付けができません。

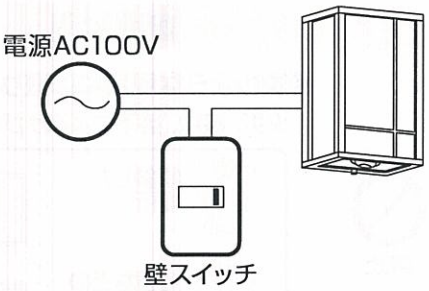


配線についてのご注意

●必ず壁スイッチを設けてご使用ください。（スイッチは別途ご用意ください）
・点灯に異常が発生したとき、リセットできません。

●壁スイッチにパイロットスイッチを使用すると、壁スイッチがONの状態でも照明器具が消灯状態（センサ待機状態）のときは、パイロットスイッチ表示が点灯しない場合があります。（故障ではありません）

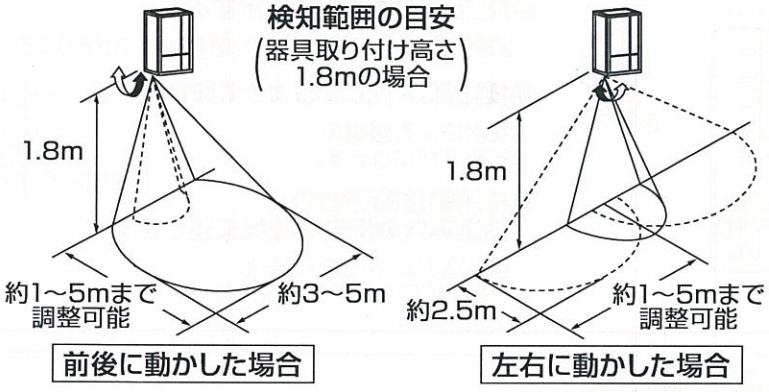
●通常は壁スイッチをONにした状態でご使用ください。



センサの検知範囲

●センサの検知部を動かして、検知範囲を調整できます。（センサの検知部は全方向に約20度動きます。）

●器具の取り付け高さ1.8m（標準）～3mの間では、検知範囲は変わりません。
ただし、器具は1.8m（標準）～2.5mの間で取り付けてください。（リモコンの性能が1m以内のため）



ご注意

- この器具のセンサは、熱源の温度変化を動きとしてとらえます。そのため、動物、自動車など人以外の動きも検知して照明が点灯する場合があります。また、静止状態の人などは検知しない場合があります。
- 検知範囲は気温、服装、移動速度、進入方向、体温、器具の取り付け高さや傾きなどにより変化します。
- 夏場など、気温が体温に近い状態になると、温度変化が小さいため検知しない場合があります。
- センサの性能上、器具に向かってまっすぐ近づいた場合、器具の近くまで近づかないと検知しないことがありますが、器具の故障ではありません。

調整ツマミの設定について

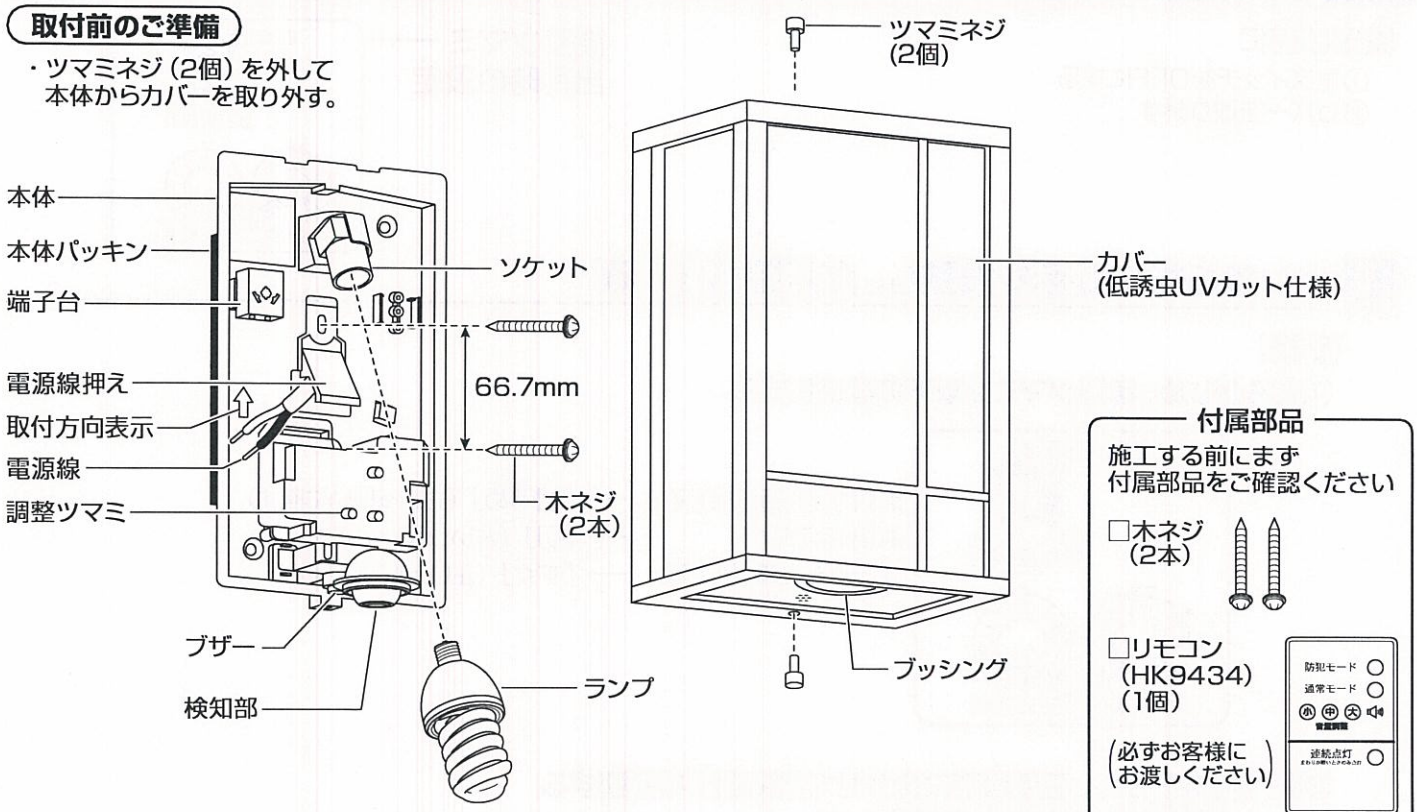
この器具は取り付け後、ご使用の環境に合わせてセンサの検知範囲、調整ツマミの設定が必要です。
必ず、4ページ「検知範囲と調整ツマミを設定する」をお読みのうえ、設定してください。

各部のなまえと取り付けかた

安全のため、電源を切ってから行ってください

取付前のご準備

・ツマミネジ（2個）を外して
本体からカバーを取り外す。



付属部品

施工する前にまず
付属部品をご確認ください

□木ネジ
（2本）

□リモコン
（HK9434）
（1個）

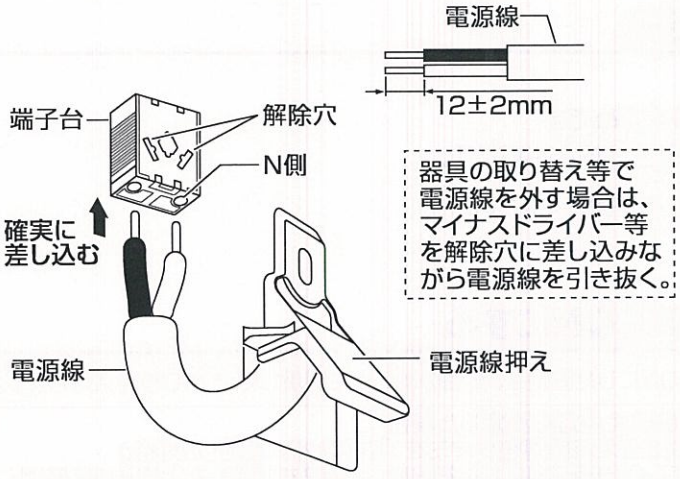
（必ずお客様に
お渡しください）

1 付属の木ネジ（2本）で 本体を取り付ける

・取付方向表示に従って取り付けてください。
・取付ピッチ：66.7mm

2 端子台に電源線を接続する

・適合電線：VVF φ1.6、φ2.0単線
・電源線は、図のように電源線押えから引き出してください。



器具の取り替え等で電源線を外す場合は、マイナスドライバー等を解除穴に差し込みながら電源線を引き抜く。

ポリエチレン系絶縁体を使用した、EM（エコマテリアル）ケーブルをご使用の場合は、表面の劣化を考慮し、端末部付近の絶縁体露出部を黒テープなどで保護してください。

3 ソケットにランプを取り付ける

4 検知範囲と調整ツマミを設定する

・カバーを取り付ける前に
必ず行ってください。

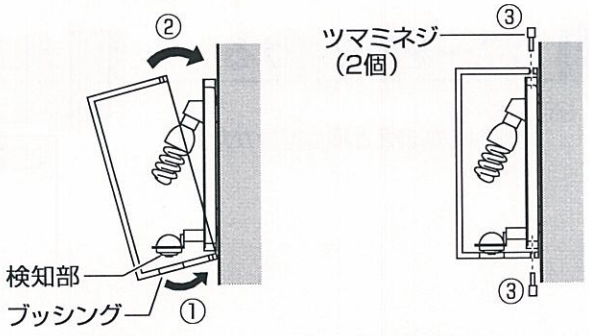
（次ページ参照）

5 カバーを取り付ける

①検知部がブッシングの中心にくるように
検知部を動かさないようにしながら
カバーを本体の下側からかぶせる

⚠注意 ⃠ **上側や正面からかぶせない**
検知部の破損の原因となることがあります。

②カバーの上側を本体にかぶせ、垂直にセットする
③ツマミネジ（2個）でカバーを固定する
・ツマミネジ（2個）は確実に締め付けてください。
カバー落下の原因となります。

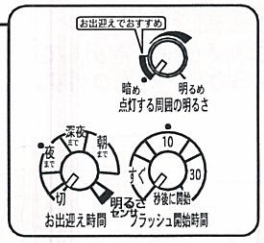


・カバー取付時に検知部が動いた場合は、
もう一度検知範囲を調整してください。

検知範囲と調整ツマミを設定する　昼間でも設定できます

設定の前に
①壁スイッチをOFFにする
②カバーを取り外す

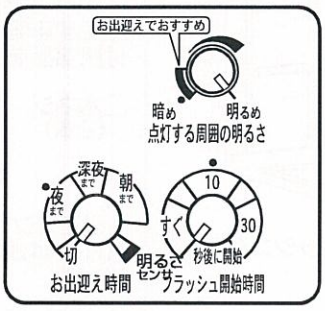
調整ツマミ
出荷時の設定



1 センサの検知範囲を調整し、点灯確認をする

【手順】

①あらかじめ、調整ツマミを以下の設定にする



点灯する周囲の明るさ ―「明るめ」（右いっぱいに回す）
お出迎え時間 ―「切」（左いっぱいに回す）
フラッシュ開始時間 ―「すぐ」（左いっぱいに回す）

②検知部を動かし、設置場所に合わせて検知範囲を調整する

●検知部は、全方向に約20度動きます。
●センサの検知範囲は、☞2ページ「センサの検知範囲」をご参照ください。

③壁スイッチをONにし、センサの検知範囲の外に出る

➡ 約40秒間点灯してから消灯します。

消灯しない場合は以下の原因が考えられます。
●お出迎え時間が「切」になっていない ⇒ お出迎え時間を「切」にする
●センサの検知範囲に入っている ⇒ センサの検知範囲から外に出る
●連続点灯になっている ⇒ 付属のリモコンの通常モードのボタンを押す

④消灯したら器具に近づいて、フラッシュ光とアラーム音が動作することを確認する

●センサの検知範囲の外に出てから約5秒後に消灯します。

いったん壁スイッチをOFFにして
2 使いかたに合わせて調整ツマミを設定する

●点灯する周囲の明るさ ―「暗め」がおすすめです。
●お出迎え時間 ―「夜まで」（約22：00）がおすすめです。
●フラッシュ開始時間 ―「10秒後」あるいは「30秒後」がおすすめです。

（注）動作の詳しい説明は、取扱説明書 ☞ 4ページ「使いかた」をご参照ください。

3 カバーを取り付ける

☞3ページ
「各部のなまえと取り付けかた」
参照

4 壁スイッチをONにする

➡ 壁スイッチをONにした直後は、周囲の明るさに関係なく、約40秒間点灯します。

ご注意 ●お出迎え点灯を設定した場合
(お出迎え時間調整ツマミを「切」以外に設定した場合)
壁スイッチをONにした初日は、手順2で設定した「お出迎え時間」ツマミの位置に関係なくお出迎え点灯は約4時間で終了します。
翌日より設定した時刻通り終了します。

パナソニック株式会社　インテリア照明ビジネスユニット
〒571−8686 大阪府門真市門真1048
© Panasonic Corporation 2012

HWC6133E-S3A1
N0310-011211